

徳島県における消費者行政の取組

資料2



徳島県

消費者庁新未来創造戦略本部

R2.7.30 「消費者庁新未来創造戦略本部」開設！

◆ 消費者行政の「政策創造」「国際業務」の恒常的拠点が徳島に！

オフィス経て3年にわたる取組が結実



◆ 国際消費者政策研究センター 新設

➤ 本部長：消費者庁長官

次長(審議官)：戦略的に業務

- ・全国展開を見据えたモデルプロジェクト
- ・国際消費者政策研究



自治体からの職員派遣

徳島県内

- ①徳島市
- ②佐那河内村

中四国地方

- ①鳥取県 ②愛媛県
- ③高知県

近隣自治体から
職員派遣



企業からも
職員派遣！

未来本部と連携した取組

◆ 全国を先導するモデルプロジェクトの拠点

- 成年年齢引下げを踏まえ、「発達段階に応じた消費者教育」を推進
- SDGs達成に資する「エシカル消費」及び「消費者志向経営」の普及・推進
- 消費者をトラブルから守る「見守りネットワーク」、「消費生活相談体制」の拡充

など

関係機関との協働・共創の場

◆ 「とくしま消費者行政プラットフォーム」 未来本部に隣接

- 新たな国際連携の拠点、未来本部はじめ関係機関との連携の拠点に海外10か国含む国内外から延べ2,070名超が視察



◆ 黄川田大臣の徳島県視察（R7.11.16）

- 徳島県消費者情報センターで消費生活相談員、徳島市地域包括支援センター職員等と意見交換
- 徳島県庁で未来本部、とくしま消費者行政プラットフォーム視察、副知事等と意見交換



徳島県消費者情報センターでの意見交換



とくしま消費者行政プラットフォームでの意見交換

村上副知事との写真撮影（徳島県庁1階）

「消費者行政・消費者教育」の展開

◆ライフステージに応じた消費者教育の展開

- 消費者庁と連携した消費者教育教材の開発・活用
 - ・消費者庁作成「社会への扉」の活用（県内全高校・授業実施）
 - ・発達段階に応じた「中学生」「小学生」向け教材開発
 - ・「高齢者向け教材」作成
 - ・特別支援学校向け教育用教材 など



高齢者向けテキスト教材



中学生向け教材
(デジタル改定版)

<主な取組・成果>

➤ デジタル教材の充実・強化



「OUR(阿波)エシカルタウンでSDGsを学ぼう」(R2～)

・アクセス数**109.0万回**(R7.12末時点)



「月刊 消費生活の超きほん」(R4～)

・SNS広告による誘導を強化

・アクセス数**32.6万回**(R7.12末時点)

➤ 出前講座の実施



・専門知識を有する講師を「消費者教育人材バンク」から派遣

R6実績(R7.3末時点)：

バンク登録数 51団体・8個人

出前実績 132講座(10,521人受講)

R7 新たな担い手の発掘と育成へ！

➤ 「ショート動画コンテスト」の実施



- ・若者の視点で「エシカル消費」や「消費者トラブル」をテーマに募集
- ・スマホで簡単に参加できる仕組みで、制作活動を通じSDGsの自分事化を促進

➤ 消費者大学校・大学院の公開講座を充実



- ・地域の消費者リーダー育成に向け、より多くの参加者の関心を促す
- ・多様な層から新たな担い手を発掘
- ・大学校・大学院受講者数
合計112名（R6年度）
→合計218名（R7年度）

「消費者行政・消費者教育」の展開

◆ エシカル消費の推進

<推進体制>

- 「とくしまエシカル消費推進会議」(H29年度)
 - ・ エシカル消費の推進母体として、消費者・事業者・行政が一体となった取り組みを推進
- 「徳島県消費者市民社会の構築に関する条例(通称：エシカル条例)」(H30年度)
- 県内すべての公立高校に「エシカルクラブ」設置(R元年度)
 - ・ 各校の「エシカルクラブ」から意欲ある生徒が集まった「とくしま・エシカル高校生委員会」を結成



<主な取組・成果>

- 「エシカル消費自主宣言」 107事業者(R7.12末時点)
- 「エシカル甲子園2024」(R6.12.26)
 - ・ 全国61校の8校が徳島からエシカル消費の実践活動を発信
 - ・ 県内高校生も運営に積極的に参加(とくしま・エシカル高校生委員会メンバー)
- 徳島県の「エシカル消費」認知度 51.3%(R6年度県調査) ※R7全国：27.1%(消費者庁調査)
- 「とくしまエシカルマルシェ」(R5～R6)
 - ・ 「食」はじめ「実践の場」を創出



R6.8.4 藍住町ショッピングモール



R7 エシカル消費体感型イベント 「とくしまエシカルday」開催



未来本部 藍染手織りコースター作り



伝統芸能 阿波おどり披露



R7.10.5 藍場浜公園

R7 フィールドワークを通して高校生が課題解決策を提案 「とくしま高校生エシカルサミット2025」開催



- ・ 県内外から約60人の生徒が参加
- ・ 12の班から解決策を発表

R7.8.25～8.27

「消費者行政・消費者教育」の展開

◆消費者被害の防止対策

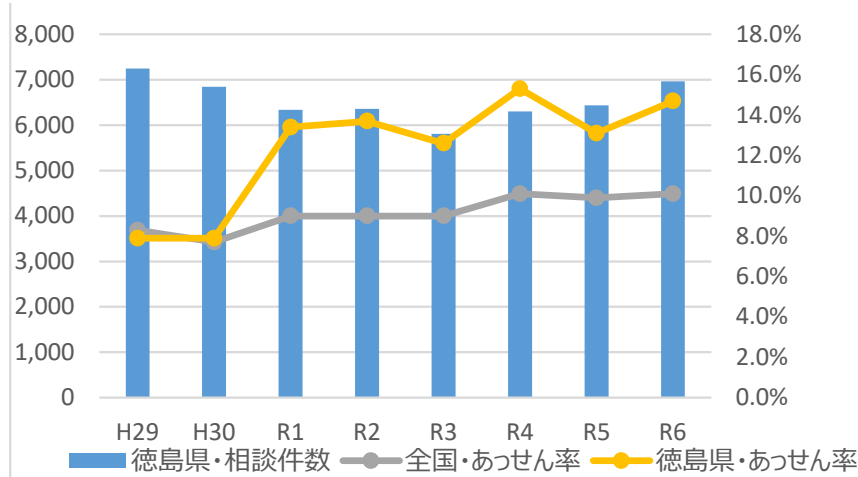
<推進体制>

- 県内全市町村に「消費生活センター」設置※広域設置を含む
 - ・ 徳島県内どこに住んでいても身近で質の高い消費生活相談を受けられる体制を構築
- 県内全市町村に「見守りネットワーク」設置
 - ・ 「とくしま見守りネットワーク（県）」による市町村設置の支援
 - ・ 県消費者政策課が構成団体としてすべてに参画、県・全市町村との情報共有体制を確保



<主な取組・成果>

- あっせん率の向上
 - ・ 県下全域で消費生活センターと見守りネットワークが本格稼働したR1年度からあっせん率が大幅向上



※あっせん：消費者と事業者間の情報量や交渉力の格差を補うため、両者の間に入ってトラブル解決に向けた支援を行うこと

- ネットワークの実効性や機能性のさらなる向上
 - ・ 県ネットワークにおける構成員拡充
37団体(H29年度)→45団体 (R7.2末)
 - ・ とくしま消費者見守りネットワーク定例会議の開催
外部講師による講演、情報共有・意見交換

R7

ネットワークと連携した広報・啓発の強化

- ・ 流行する手口に関するチラシを作成し、関係機関に配布
- ・ 空港や徳島駅前等での合同街頭啓発実施
- ・ イベント会場での「国際電話利用休止申込」「特殊詐欺被害疑似体験」特設ブース開設

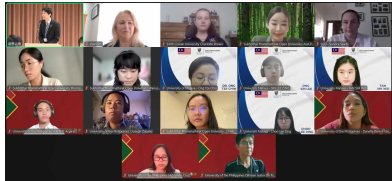


消費者政策「国際拠点化」の推進

◆「国際拠点化」の推進

<主な取組・成果>

- 海外大学とのオンライン交流(R3年度～)
 - ・「食におけるエシカル消費のあり方」をテーマに議論
 - ・R6年度は豪州、アジア、県内の8大学参加、大学生による「消費者行動宣言」とりまとめ



- ・G20・消費者政策国際会合 (R元)
 - ・「国際消費者フォーラム」 (R2～R5)
- レガシーを継承・発展

- 「国際消費者シンポジウム in 徳島」(R7.6.6)
 - ・国内外の若者が主役、「食」をテーマとする議論
 - ・消費者政策専門家によるセッション
 - ・国内外出演者による「食育大会視察ツアー」



宣言→提言へ

- ・シンポジウムに参加した海外・県内大学の学生によるオンライン会議の実施
- ・持続可能な社会実現に向けた国・企業等への提言

徳島から世界へ

- ・県内学生を海外に派遣、海外の消費者政策の体感、若者の取組発表
- ▶徳島から直行便でアクセスできる「韓国」をターゲット



消費者庁長官へ提言手交



消費者庁審議官等との意見交換



韓国消費者院を訪問し、「消費者保護の取組」「商品テスト」を視察



日韓大学生が取組を発表 (於：ソウル大学)

ずっと居りたい
いつも帰りたい
みんな行きたい

いつも帰りたいケン
ずっと居りたいケン
みんな行きたいケン

未来に引き継げる 徳島の実現

1 まち 住んでみたいまちづくり

- 高齢者等見守りネットワークの全県整備
 - ・高齢者・認知症等により判断能力が不十分になった人などの消費者被害を未然防止
 - ・地域の関係者が連携したネットワークを構築 (24全市町村に設置)
- SDGsの実現に向けたエシカル消費の推進
 - ・「徳島県消費者市民社会の構築に関する条例」(通称エシカル条例)の制定
 - ・H29.7「とくしまエシカル消費推進会議」設置 (42団体参加)
 - ・徳島県の「エシカル消費」の認知度51.3% (全国27.1%)

神山町では、郵便局員や新聞配達員の見守りにより安全・安心の向上へ

都道府県初

地産地消で子育て支援 (エシカル寄附付きシール) 阿波市ファミサポへ寄附

「安全・安心で持続可能なまち」を構築!

2 ひと 新たな人の流れづくり

- 「消費者庁新未来創造戦略本部」の開設
 - ・本庁機能を有する「政策創造」と「国際業務」の恒常的拠点
 - ・東京一極集中の是正に向け、新たな雇用の場創出
- 戦略的・継続的な国際会議の徳島開催
 - ・R元.9.5~6 消費者庁と徳島県の共催による「G20消費者政策国際会合」開催
 - ・世界38の国や地域、国際機関の関係者が参加し、そのレガシーを継承中

明治開關以来初

R2.7.30 本部開設

日本初

レガシー継承発展

国際消費者シンポジウム in 徳島

- ・国内外の若者が主役、「食」をテーマとする議論
- ・消費者政策専門家によるディスカッション
- ・国内外出演者による視察ツアー (食育との連携)

G20消費者政策国際会合

国際化の取組と呼応し、ヒト・モノの交流を拡大!

3 しごと 魅力的な仕事づくり

- 消費者志向経営の推進
 - ・「消費者」と「共創・協働」して「社会価値」を向上させる経営(消費者庁の制度)
 - ・持続可能な社会に貢献する事業者の拡大を推進
 - ・H29.10「とくしま消費者志向経営推進組織」設立 (事業者団体、消費者団体等の11団体)
 - ・徳島県内「消費者志向自主宣言事業者」数74社(全国1,007社) ※R7.12.26時点
- 公益通報者保護制度の率先導入
 - ・改正公益通報者保護法を踏まえ、全国に先駆け、経済団体と連携し、制度の導入を促進、働きやすい職場へと進化

地方企業初

消費者志向経営優良事例表彰 R元 (株)広沢自動車学校が「大臣表彰」受賞

全国トップクラス

若者があこがれ、働いてみたい「企業や職場」を創出!

4 子育て 子育て環境づくり

- 発達段階に応じた消費者教育
 - ・成年年齢引下げを見据え消費者庁作成「社会への扉」を活用し、県内全ての高校等で授業実施
 - ・小中へも展開
 - ・H30「中学生向け消費者教育教材」を開発(R4デジ知改定)
 - ・R1「小学生向け消費者教育教材」を開発
- エシカル甲子園の開催
 - ・R元年度から毎年度開催
 - ・意欲溢れる全国の高校生が「聖地・徳島」に集結!
 - ・参加申込数：全国61校(R6年度)
 - ・表彰：大臣賞、消費者庁長官賞、知事賞等

GIGAスクール構想によるタブレット端末を活用し、小・中・高・特別支援学校で消費者教育を展開

県下全域

エシカル甲子園2024

デジタル社会における「自立した消費者」を育成!